地方公共団体名	栃木県

令和６年度
外部講師を活用したがん教育等現代的な健康課題理解増進事業　事業成果報告書

【外部講師を活用して実施するがん教育の推進に係る取組】

1　事業の具体的内容について

（1）自治体における取組

①　栃木県がん教育推進協議会について

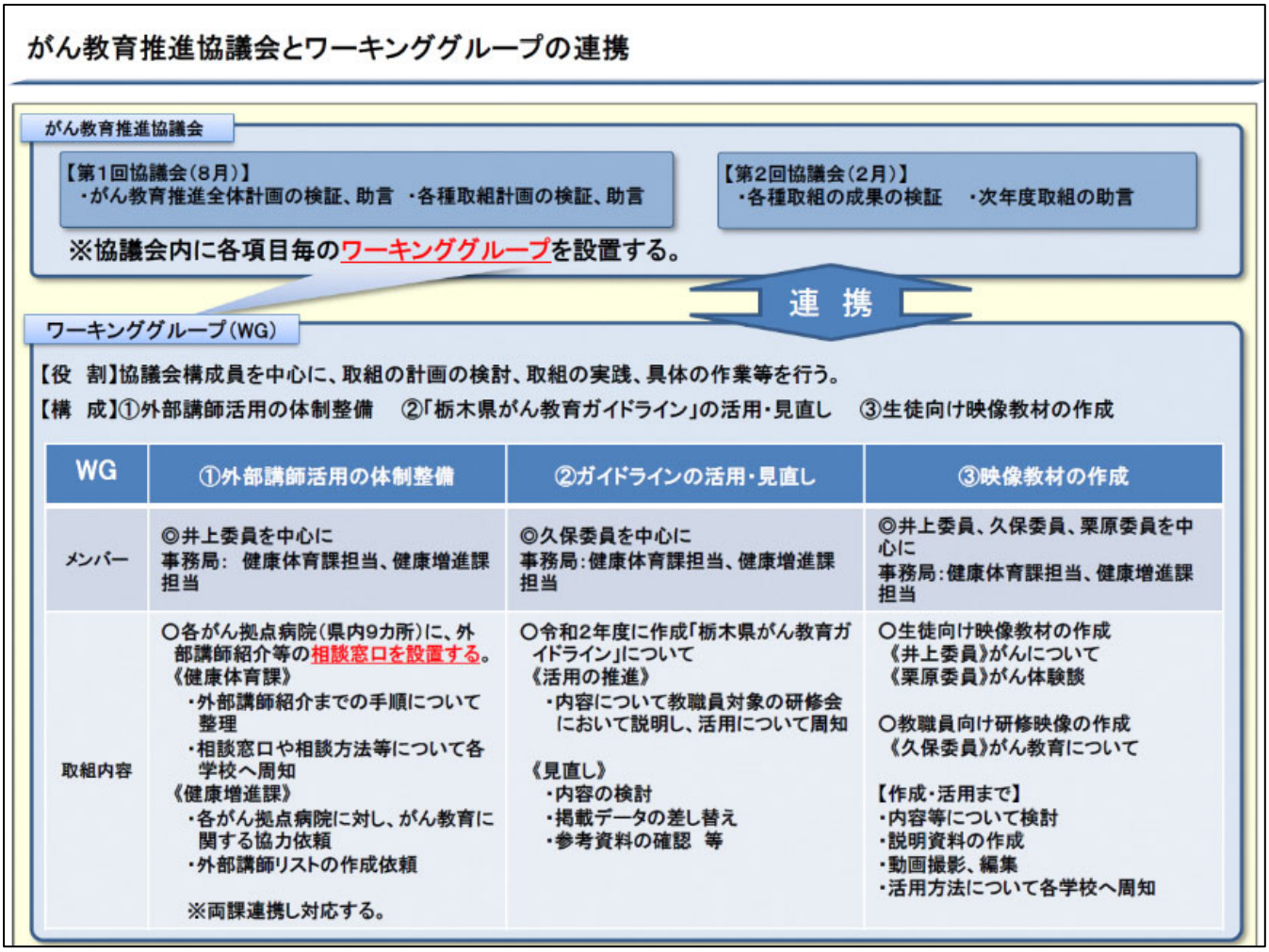
1．構成員（7名）

No	所属	職名
1	宇都宮大学共同教育学部	准教授
2	栃木県立がんセンター放射線治療科	科長（がん専門医）
3	あけぼの栃木（がん患者団体）	代表
4	武田薬品工業株式会社	マネジャー
5	栃木県立矢板東高等学校	校長
6	栃木県立栃木農業高等学校	保健主事
7	栃木県立宇都宮女子高等学校	養護教諭

〈事務局〉栃木県教育委員会事務局健康体育課、栃木県保健福祉部健康増進課

2．開催時期、検討内容

第１回栃木県がん教育推進協議会	8月23日（金）15:00～17:00	参集
〈説明〉事業概要、令和６年度がん教育に関する計画　（県教育委員会事務局） 〈協議〉○栃木県がん教育研修会について ○外部講師の活用について ○ワーキンググループの設置について 協議会構成員を中心に、取組の計画の検討、取組の実践、具体の作業等を行うワーキンググループを設置する。 ・外部講師活用の体制整備ワーキンググループ ・「栃木県がん教育ガイドライン」見直しワーキンググループ ・映像教材作成ワーキンググループ		
第２回栃木県がん教育推進協議会	1月29日（水）15:00～17:00	参集
〈説明〉今年度の取組に関する報告（県教育委員会事務局） 〈協議〉今年度の取組の検証及び次年度の取組内容の検討 ○栃木県がん教育研修会について ○外部講師の活用について ○ワーキンググループの取組について ・外部講師活用の体制整備ワーキンググループ ・「栃木県がん教育ガイドライン」見直しワーキンググループ ・映像教材の作成ワーキンググループ		



② 教育委員会としての取組

○栃木県がん教育研修会の実施

1 目　　的　がん教育における講話の内容や留意事項、外部講師との効果的な連携の在り方や教科指導との関連等に関する研修を実施することで、関係者の資質の向上を図り、本県における外部講師を活用したがん教育を推進する。

2 開催方法　オンデマンド配信（動画視聴による研修）

3 配信期間　令和 7 (2025)年 1 月 14 日（火）～2 月 21 日（金）

4 対　　象　学校においてがん教育に関わる、外部講師（がん専門医、学校医、がん経験者）、国公私立学校の健康教育担当者（体育・保健体育科教員、保健主事、養護教諭等）

5 内　　容

ア　外部講師向け研修

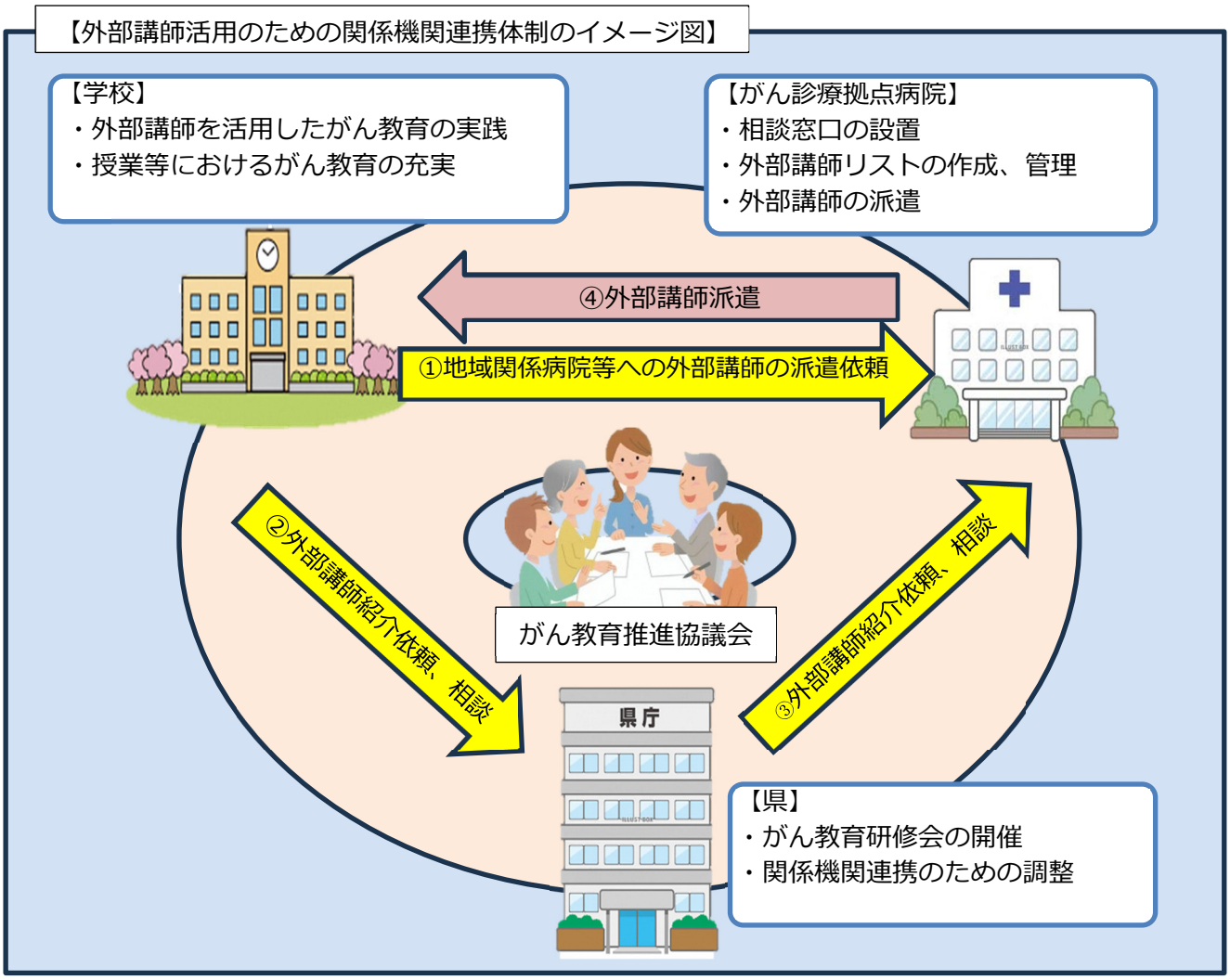
No	内容	講師	時間
1	外部講師の参画による学校での「がん教育」の進め方等	大学准教授	約 20 分
2	外部講師の留意点、学校との打合せ等	がん専門医	約 20 分

イ　健康教育担当者向け研修

No	内容	講師	時間
3	外部講師との効果的な連携等	大学准教授	約 20 分
4	医療者が外部講師としてお話する内容の一例等	がん専門医	約 15 分
5	乳がん体験者から子どもたちへ伝えたいこと等	がん経験者	約 10 分

6 そ の 他　外部講師向け研修の受講者には、「外部講師リスト」への登録についての意向を確認し、了承を得られた方を登録する。

○外部講師活用の体制整備ワーキンググループ



【取組内容】

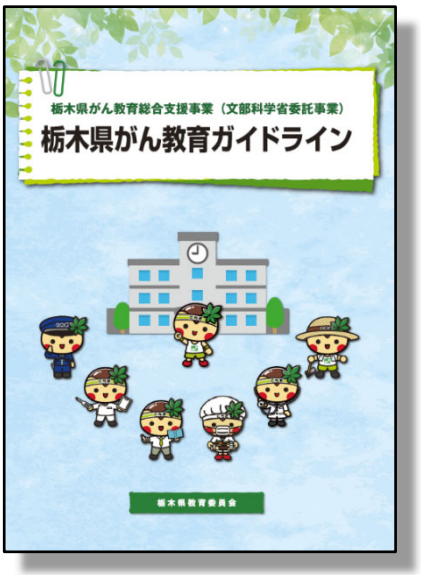
・「栃木県がん診療連携協議会」において、がん教育の充実発展に向けた協力依頼
・「栃木県がん教育研修会」を受講した医師等の外部講師リストを作成
・学校が外部講師を依頼する際の関係機関の連携に関するフロー図を作成
・作成したフロー図を「栃木県がん教育ガイドライン」に掲載
・依頼文書等の各種様式を作成

○「栃木県がん教育ガイドライン」の見直しワーキンググループ

【目的】令和３年２月発行の「栃木県がん教育ガイドラン」を学校において有効活用するため、必要に応じて内容を更新するとともに教職員対象の研修会において活用法を周知する。

【取組内容】

・法令、がん対策基本計画の改訂に基づく更新
・外部講師を依頼する際のフロー図等を追記
・アンケート結果の差し替え
・日本学校保健会等の最新の教材に更新
・外部講師による講話写真を更新
・各学校に対して、ガイドラインの活用法を含めて周知
・県教育委員会ホームページに掲載



○映像教材の作成ワーキンググループ

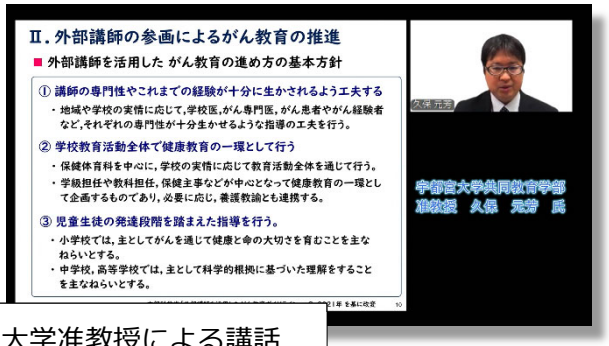
【取組内容】

各学校が授業等において、がん専門医やがん経験者による講話を効果的に活用できるよう生徒向け及び教職員向け映像教材を作成。

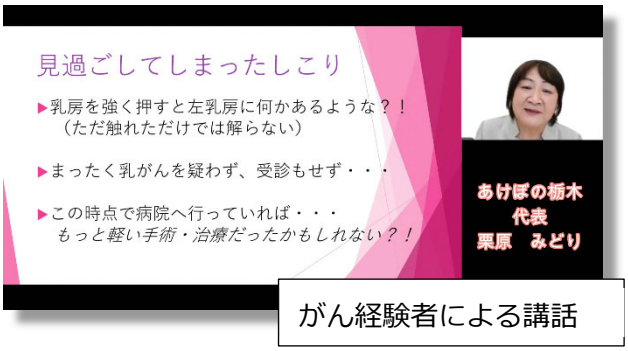
がん教育に関する映像教材一覧

動画の種類	講師	No	内　　容	時間
生徒向け（授業活用）	がん専門医	①	講師紹介	2 分
		②	がんの細胞と、がんという病気の考え方	12 分
		③	統計から考えられること	10 分
		④	がんを防ぐための 12 か条（40 分版）	40 分
		⑤	がんを防ぐための 12 か条（25 分版）	25 分
		⑥	がん患者等への支援	12 分
		⑦	がんの診断と治療の概要	12 分
	がん経験者	⑧	乳がん体験談をとおして（全編）	30 分
		⑨	乳がん体験	15 分
		⑩	早期発見・早期治療の重要性	10 分
		⑪	もし、大切な人ががんになったら	5 分
教職員向け	大学有識者	⑫	外部講師の参画による、学校での「がん教育」の進め方	20 分
	がん専門医	⑬	医療者が外部講師としてお話しする内容の一例　等	15 分
	がん経験者	⑭	乳がん体験から子どもたちへ伝えたいこと	10 分

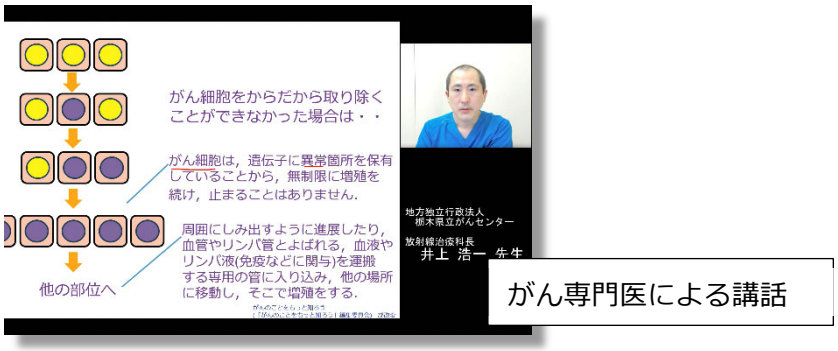
映像教材の紹介



大学准教授による講話



がん経験者による講話



がん専門医による講話

③　保健部局や地域の専門機関等との連携

・「栃木県がん対策推進計画」にがん教育を位置づけ、「栃木県がん対策協議会」において、がん対策の一貫としてのがん教育の推進について説明した。

・がん診療連携拠点病院の理事長等が集う「栃木県がん診療連携協議会」において、がん教育の充実発展に向けた協力を依頼した。

（２）外部講師を活用したがん教育の授業（全６校）

○栃木県立矢板東高等学校及び同校附属中学校

１　実施日時　11月12日（火）14:25～16:30
２　対象学年　保健委員会生徒（中高生40名程度）
３　実施科目等　特別活動（学校行事）
４　講　　師　がん専門医
５　内　　容　学校保健委員会において、管理職、保健主事、養護教諭、生徒保健委員会、保護者等が参加し、がん専門医による講話や生徒の取組報告など行い、意見交換を行った。

○栃木県立小山南高等学校

１　実施日時　11月27日（水）12:05～12:55
２　対象学年　１年生
３　実施科目等　保健体育科・科目保健
４　講　　師　がん専門医、がん経験者
５　内　　容　外部講師２名を招き、２学級対象に１単位時間（50分）を半分の時間で区切り、生徒ががん専門医とがん経験者の講話を聞けるよう工夫して行った。また、外部講師からはお互いの講話内容を知る機会となり、今後の参考になるとの感想を得た。

○栃木県立今市高等学校

１　実施日時　11月28日（木）14:30～15:20
２　対象学年　１年生
３　実施科目等　保健体育科・科目保健
４　講　　師　がん専門医
５　内　　容　１年生の保健の授業の中で、がんの原因、予防、治療、緩和ケア、がん対策（AYA世代含む）等について学習した上で、がん専門医による、「がんの細胞」「がんの統計」「がんを防ぐための12か条」についての講話を行った。

○栃木県立栃木農業高等学校

１　実施日時　12月９日（月）14:35～15:25
２　対象学年　１年生
３　実施科目等　保健体育科・科目保健
４　講　　師　がん経験者
５　内　　容　１年生の保健の授業の中で、がんの原因、予防等について学習した上で、がん専門医による講話による「がんの細胞」「がんの統計」「がんを防ぐための 12 か条」についての講話を行い、後日、がん経験者による「体験談」「がん検診の重要性」「大切な人ががんになったら」の内容で講話を行った。

○栃木県立足利清風高等学校

1　実施日時　12月12日（木）13:35～14:25
2　対象学年　2年生
3　実施科目等　保健体育科・科目保健
4　講　　師　がん専門医
5　内　　容　事前に打ち合わせにおいて、生徒への配慮事項を共有した上で、がん専門医による「がんの細胞」「がんの統計」「がんを防ぐための12か条」についての講話を行った。

○栃木県立学悠館高等学校（定時制）

1　実施日時　12月18日（水）11:50～12:35
2　対象学年　3、4年（100名程度）
3　実施科目等　保健体育科・科目保健
4　講　　師　がん経験者
5　内　　容　最終学年を対象に、がん検診の重要性を中心とした内容で行った。将来の自分の生活をイメージしながら、自分事と捉えて講話を聞く様子が見られた。

2　事業の達成度について

○栃木県がん教育研修会

・教職員向け外部講師向け、それぞれ充実した内容の映像教材を作成できた。
・受講者の受講修了報告から（参考になった点）

【がん専門医による講話】

- 実際に生徒に伝えているメッセージを知れた
- がんの予防について、生活習慣との関連に触れつつも、予防できない原因があることについて理解できるようにすること

【大学准教授による講話】

- がん教育を通して健康教育全体の充実につなげることの必要性
- 小中学校での学習を踏まえて、高等学校におけるがん教育を進める必要があること

【がん経験者による講話】

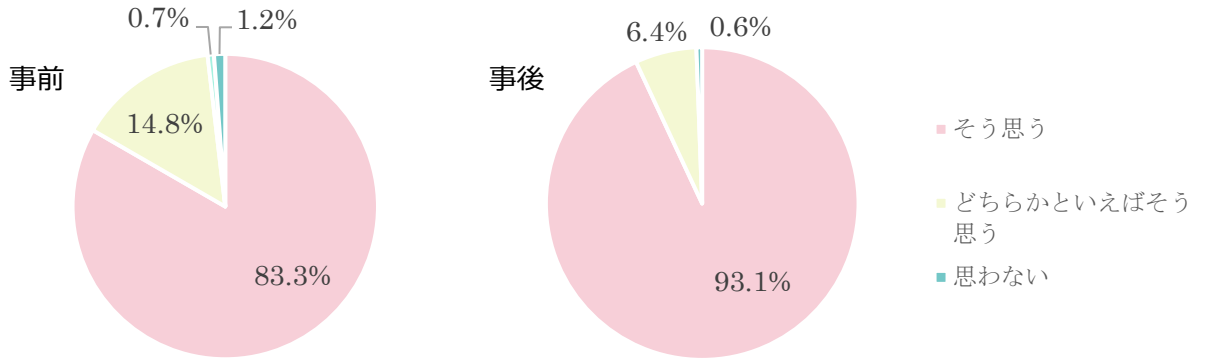
- 患者や家族の思いを伝えることが、生徒の心に響くこと
- ご自身の経験を元に話されていたので説得力があった

○外部講師の活用

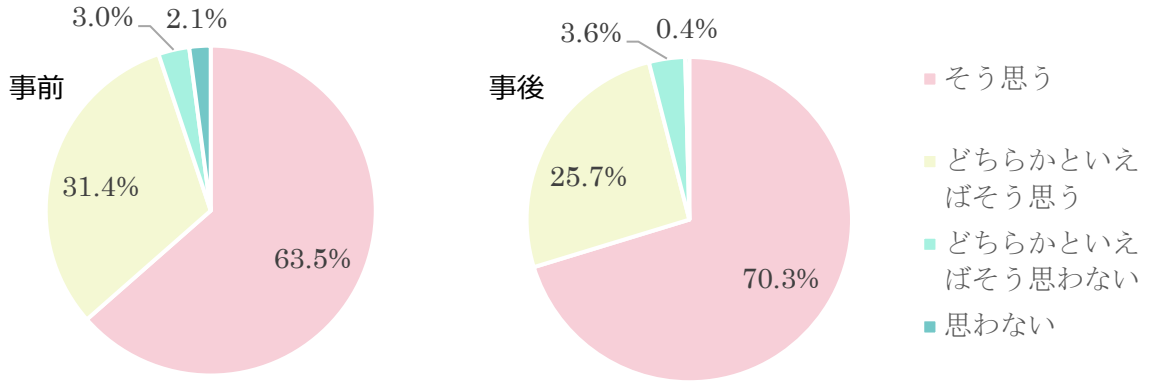
・がん専門医やがん経験者の講話により，がんについての正しい理解，命の大切さについて深く考える機会とすることができた。
・外部講師の活用率は、県内高等学校全日制60校中6校の実施で10%となった。（全国平均11%）

・生徒アンケートの結果（抜粋）

Q　がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ



Q　日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う



・生徒の感想（抜粋）

- がんを自分事として感じる機会となった
- がんについて詳しく知ることができた
- がんに罹患した親族の心情を知ることができた
- 家族や友達ががんに罹患したら寄り添ってサポートしたい
- 自分や家族のがん検診について考えたい

○映像教材作成

・外部講師と学校行事等との調整が不可能な場合に、授業等で活用できる映像教材を整備することができた。

・がん教育を進めるにあたっての注意点等について、指導者向け映像教材を整備することができた。

・授業等で活用する生徒向け教材は、授業者が授業の内容に合わせて活用できるよう、複数のコンテンツに分けて作成した。

3　今後の課題及びその取組の方向性（今回の事業により新たに見えた課題等）

【外部講師の活用】

・令和５年度の活用率 5.6%からは上昇したものの、依然として低い状況にある。外部講師を活用することによる効果等を普及させ、次年度以降も拡充を図る。

・外部講師による講話を健康教育の一貫として学校保健計画に位置づけ、継続して活用を図るよう指導していく。

【がん教育研修会】

・開催方法をオンデマンド配信としたが、申込者が受講しないケースがあったため、次年度はリアルタイム配信とオンデマンド配信の併用で開催する。

・オンデマンド配信は、申込機会を増やして参加の機会を広げる。

【外部講師活用の体制整備】

・各がん診療連携拠点病院に相談窓口を設置し、外部講師の紹介を行ったもらうことを想定していたが、県教育委員会事務局において外部講師リストを作成し始めた段階であり、当面は県教育委員会事務局が相談窓口となって調整する。

【がん以外の現代的な健康課題に係る取組】

○「心の健康」に関する外部講師の活用

【目的】　現代的な健康課題（心の健康）に対応するための正しい知識を身に付け行動することができるよう、生徒自らの健康を適切に管理し改善していく資質や能力を育てる。

NO	学校名	日時	対象学年	講師	実施科目等
1	栃木県立 小山南高等学校	11月28日（木） 14:40～15:30	2年生	精神保健福祉士	スポーツ総合演習
2	栃木県立 のざわ特別支援学校	12月13日（金） 13:30～14:20	高等部生	スクールソーシャルワーカー	保健体育科・ 科目保健
3	栃木県立 壬生高等学校	12月6日（金） 14:35～15:25	全学年	公認心理師	特別活動 （学校行事）
4	栃木県立 栃木農業高等学校	1月21日（火） 13:35～14:25	1年生	精神保健福祉士	特別活動 （学校行事）
5	栃木県立 宇都宮女子高等学校	1月27日（月） 13:15～14:05	1年生	公認心理師	ＬＨＲ

実践事例

○栃木県立栃木農業高等学校

1　実施日時　1月21日（火）13:35～14:25
2　対象学年　1年生
3　実施科目等　特別活動（学校行事）
4　講　　師　精神保健福祉士
5　内　　容　1年生を対象に、高校生期の精神的特徴や不安・ストレスへの対処方法等、また科学的根拠に基づいた知識を中心に、「幸福学」や「幸福経営学」など斬新な視点も取り入れた内容で、生徒が適切な意思決定や行動選択ができるような講話を行った。

○栃木県立宇都宮女子高等学校

1　実施日時　1月27日（月）13:15～14:05
2　対象学年　1年生
3　実施科目等　ＬＨＲ
4　講　　師　公認心理師
5　内　　容　1年生のＬＨＲの授業の中で、公認心理士等の資格や、自分で自分の心の健康を保つ重要性について講話を行った。生徒の特性上、自分自身を過度に追い込んでしまう生徒が多いため、「自分で自分をご機嫌にする」「自分をゆるす」をキーワードに展開し、生徒からは、「自分を知ることができた」「自分と向き合うことができた」等の感想を得た。

・生徒の感想（抜粋）

- 心の健康も身体の健康と同じだということが分かった
- 日本人の多くが何らかの精神疾患にかかっていると聞いて驚いた
- 心配なことがあればいつでも相談してほしいと言ってくれたことに安心した
- 認知行動療法についての話は印象に残った
- 自分は心の病になることは無いと思うけど友達が苦しんでいる時には助けようと思った

外部講師による講話の様子

小山南高等学校
（スポーツ総合演習）

栃木農業高等学校
（特別活動【学校行事】）

宇都宮女子高等学校
（LHR）